

札幌市教育文化会館情報誌「楽」

vol. 56  
DECEMBER 2021

# 私たちの伝統芸能

sapporo education and culture hall news  
Raku



書：若山象風

## [特集] 座談会

# 能楽&人形浄瑠璃が好き!

その時々に生きる人たちが魅力を見出し、自ら習ったり観劇したりして支えてきたからこそ残ってきた伝統芸能。では、現代におけるファンは、どのようなところに魅力を見出しているのでしょうか？謡と仕舞を習う所美穂子さん、国立能楽堂でインターンシップ経験のある角美弥子さん、「さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座（※1）」から池内潤樹さん、狩野智滉さん、白川さおりさんにご参加いただき、面白さを語っていただきました。

「謎解きのような楽しさ」「人間模様の凄さ」、「見どころは人それぞれ」。

——皆さんが能楽や浄瑠璃にはまつたきっかけを教えてもらえますか。

角 実は国立能楽堂でインターンシップをしたことがきっかけです。物語や面（おもて）、装束にまつわる話をたくさん聞いて、さすが700年続いた奥深い世界だなと思いました。

所 小樽能楽堂で市民能を観て、演目はもちろん所作の美しさも印象的でした。その後、仕事で岩見沢の子どもたちを対象に能楽堂での能楽体験を企画して、自分も一緒に謡を体験したら気持ちよくて。そこから習い始めて自分なりに楽しんでいます。

白川 私はやまびこ座の「ふれアート（※2）」が人形浄瑠璃との出会いです。小学生の頃からこぐま座で人形劇を習っていました。始めた頃はわからなかつた言葉がわかつたり、同じ役でも違う人がやると人形が全然違つて見えたりすること面白かったです。中学生で友達と一緒にやまびこ座の人形浄瑠璃講習会（※4）ユースクラス、その後あしり座に入りました。始めた頃はわからなかつた言葉がわかつたり、同じ役でも違う人がやると人形が全然違つて見えたりすること面白くて、今に至っています。



池内 私は子どもの頃やまびこ座の近くに住んでいて、お芝居や人形劇をよく観ていました。人形浄瑠璃も観たことがあります。ただし、始まって数分で寝てしまつた感じだったかも。でも大学生のときにもやまびこ座現館長の矢吹さんから浄瑠璃のワークショップに誘われて、軽い気持ちで行ってみたら面白くて、その後も一緒にやまびこ座に入りました。技術的にゴールがないので、ずっと続けていきたいと思っています。

狩野 僕は一緒に演劇をやっていた知り合いから（前述の）ユースクラスに誘われたことがきっかけです。最初は人形遣いを学んで、途中から義太夫講習会（※5）に参加して、今はあしり座義太夫部です。一人で語る場面をいただくうちに、気づいたらはまつていました。

——伝統芸能を観劇したり習ったりする楽しさとは？

角 能は知識の答え合わせができること。衣装の文様は謎解きっぽく楽しめること。出てくる囃子の種類で生きている人の話です。



※1) 1995年に誕生した、北海道唯一の人形浄瑠璃芝居一座。  
※2) 札幌市こどもの劇場やまびこ座が開催している小学生を対象とした舞台体験プログラム。  
人形浄瑠璃や鳴物、舞台裏の仕事などを体験できる。  
※3) 札幌市こども人形劇場こぐま座では、小学3年生から6年生を対象としたこども人形劇団を毎年開催。  
※4) 西川古柳（八王子車人形西川古柳座五代目家元）とさっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座が講師となり、三人連いを学ぶ講習会。中高生対象のユースクラスと一般クラスがある。  
※5) やまびこ座が開催する講習会で、竹本信乃太夫（跡乃太夫会）と鶴澤伸栄（跡乃太夫会）を講師として、義太夫節の語りと三味線を学ぶ。

池内 池内潤樹  
やまびこ座が開催する講習会で、竹本信乃太夫（跡乃太夫会）と鶴澤伸栄（跡乃太夫会）を講師として、義太夫節の語りと三味線を学ぶ。

白川 白川さおり  
2004年やまびこ座主催の人形浄瑠璃講習会に参加。その後あしり座に入会し、国民文化祭やヨーロッパ上演など多くの活動に参加。現在は副代表を務める。

所 所美穂子  
2008年、舞台体験事業で人形浄瑠璃と出会い。その後中高生の人形浄瑠璃ユースクラスを経てあしり座に所属。人形劇団ボンドとして人形劇の活動も行う。

角 角美弥子  
北海道教育大学岩見沢校准教授。研究テーマは無形の文化財の保存継承について。大学の施設でてきたまん能に関する展示をやっている。

狩野 狩野智滉  
さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座所属。現在在籍6年目。公演では主に義太夫の語りを担当。札幌を中心に義太夫の他にも人形劇・児童劇の公演も定期的に行う。

池内 池内潤樹  
人が死んでいく話が多くなります。今の感覚からするととんでもない人間模様が見えてきて、斬新だなと。  
角 人形浄瑠璃を観ていて面白かったのは、人形の後ろに見える遣い手の顔が、だんだん気にならなくなること。娘さんが泣く場面で人形の後ろに見える、遣い手のすごく真剣な顔とか。

池内 やっぱり感情が入ってくると、こち

角 ドロドロしてますよね。

池内 人が死んでいく話が多くなります。今の感覚からするととんでもない人間模様が見えてきて、斬新だなと。  
角 人形浄瑠璃を観ていて面白かったのは、人形の後ろに見える遣い手の顔が、だんだん気にならなくなること。娘さんが泣く場面で人形の後ろに見える、遣い手のすごく真剣な顔とか。

池内 やっぱり感情が入ってくると、こち

角 ドロドロしてますよね。

池内 遣う側なので、観るときも人形の若干の動きなど表現の仕方に注目してしまいます。あと人形浄瑠璃は、大人だとわかる言葉が入ってくるんですよ。人間模様がすごい。

白川 人形浄瑠璃をやっている身でも、難しそうな演目を観劇するときは「わかんないだろうな」と思ってしまうのです。実際に見ると疊ラミみたいな話たりする。狂言を観に行ったときも、自分の身近にあるようなことをちょっとと難しくやっているというか、ユーチューバーがやっていることと案外一緒だなと思うことがあります。

狩野 太夫は声の熱量で演じる楽しさがあります。どんなに感情的な場面でも三味線との掛け合いで集中して語るなど、大変だけど面白いです。あと過去作品へのオマージュのような一節が散りばめられていることもあります。演目の勉強も面白いです。

白川 人形浄瑠璃をやっている身でも、難しそうな演目を観劇するときは「わかんないだろうな」と思ってしまうのです。実際に見ると疊ラミみたいな話たりする。狂言を観に行ったときも、自分の身近にあるようなことをちょっとと難しくやっているというか、ユーチューバーがやっていることと案外一緒だなと思うことがあります。

狩野 太夫は声の熱量で演じる楽しさがあります。どんなに感情的な場面でも三味線との掛け合いで集中して語るなど、大変だけど面白いです。あと過去作品へのオマージュのような一節が散りばめられています。演目の勉強も面白いです。

白川 人形浄瑠璃をやっている身でも、難しそうな演目を観劇するときは「わかんないだろうな」と思ってしまうのです。実際に見ると疊ラミみたいな話たりする。狂言を観に行ったときも、自分の身近にあるようなことをちょっとと難しくやっているというか、ユーチューバーがやっていることと案外一緒だなと思うことがあります。

狩野 太夫は声

# 北海道と伝統

この地だからできる、伝統的な芸術文化へのアプローチを探る

当館は伝統芸能を事業の柱の一つにしています。近年は従来の公演事業に加えて、より幅広い客層へ伝統芸能の魅力を伝えるべく、試行錯誤を重ねてきました。例えば、2019年に公演のプレイベントとして開催し、現代的な趣向を凝らした能面展示で1350名もの動員を記録した展覧会。公演当日のロビー展示で魅せた、生花と能面のコラボレーション展示。さらに情報誌「act」でも能の世界観を斬新な見せ方で紹介し、大きな話題を呼びました。もしかすると、「古い形式やしきたりにこだわらない」と言われる北海道の自由な気風が、この地で伝統に向き合うときに新しい試みを後押ししてくれる側面もあるのかもしれません。今回は、古典と向き合いながら新しい表現を模索するつくり手を「act」とともにご紹介します。

北海道における伝統的な芸術が、どのように発展し受け継がれていくのか、しばし思いを馳せてみませんか？

## 能面作家 フラワーアーティスト

外沢 照章 YANASE

決まりを意識した上で、  
あえて破ってみる。  
能面と花の競演。

250種類あると言われている能面のうち、基本形は92種類。小樽在住の能面作家・外沢照章さんは、仕事をしながら42歳から面を打ち始め、現在までに打った能面の数は71種・109点。その真摯な制作の様子はact21号でもご紹介しました。YANASEさんはブランドコラボレーションなども多数手がける、気鋭のフラーーアーティスト。その二人が手がけた能面と植物の競演により、これまでにならない能の世界が立ち現れたと好評を博したのがact32・33合併号です。能面の新しい魅力が現れたビジュアルと、それぞの制作過程をぜひご覧ください。



人形淨瑠璃

## さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座



北海道に根ざしたオリジナル作品を。  
大黒屋光太夫ロシア漂流記。

1995年に誕生した「さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座」は、年1回の定期公演に加えて国内外で公演を行うなど、精力的に活動する北海道で唯一の一 座です。北海道発の新しい文化の創造を目指す彼らが5年がかりで創り上げたのが、史実を基にしたオリジナルの新作人形浄瑠璃『大黒屋光太夫ロシア漂流記』。これまでに例のない、ロシアの宫廷衣装を着こなす浄瑠璃人形も見ものです。衣裳の面から本作に迫った28号、人形浄瑠璃の魅力や彼らの活動背景を紹介する22号とともに、本作がいつか古典となる未来を想像してみてください。

若松和正

—— 現代の作品と古典を楽しむのとで違  
いはありますか？

狩野 僕からすると大きな違いはないか  
古いか新しいか、節がつくつかないかの  
違いぐらいです。

白川 どつちも楽しいけど、おしゃれし  
てワクワクして能という感じではないか  
も。能はちょっと綺麗目な服装でかしこ  
まつて行くようなイメージです。

角 池内 本当はジーンズでもいいんですけどね。  
池内 そこが敷居の高さにつながるのかも  
しないですね。「一緒に能を観に行こう  
か」と誘われたら「えっ着物？」みたいな。  
所 普通の人形から淨瑠璃人形って、すぐ  
くステップアップしてくる感じがするので  
すが、抵抗はなかつたですか？

白川 例えばプロの淨瑠璃の人など会つ  
たことのない人が改めて教えてくれる形  
だつたら、しっかりと頑張らないといけな  
い敷居の高いものとして受け止めていた  
と思うんです。でも、私の場合は池内さ  
んや、やまびこ座の館長など、いつも会つ  
て馴染んでいる人たちが教えてくれたの

——白川さんが所属する若手人形劇団の作品を観たことがあるのですが、普通の人形劇にさらっとと能面や人形淨瑠璃の要素が入っているミックス具合が面白かったです。

**池内** わからぬいけど…古典には歳を  
ねたときに感じられる流れのようなも  
があるのかなと思います。若い子たち  
生きていくスピードが早いから、能や  
瑠璃が遅く感じられて眠たくなつてしま  
う。でも歳を重ねると生きていくリズム

に終わってしまつてゐるのが残念かと  
北海道にも能楽のプロが入つてほしいな  
と思います。教文さんや小樽の能舞台を  
活用してぜひ本物を見てほしいです。  
所 お稽古を始めたとき、先生に「細く長  
く」と言わされました。自分ができることだけ

いたら売れるよね、みたいな。話題の映画を見に行く感じで、当時の人は能や淨瑠璃を観に行っていて、口コミで「みんな泣きました!」みたいな感じだったのでしょうかね。

——古典作品が生まれた当時から今に至るまで、生活様式も価値観も変化してきているのですが、それでも古典となつて残り続けるものがある。目まぐるしく変化す

今は技術のおかげでスピードアップしていく  
ように思えるけれど、歳を取ることで元  
のスピードが出てくるのでは。そう考える  
と、古典は本来の私たちのスピードを想い  
出させてくれるものもあるのかもしれま  
せんね。北海道で伝統芸能に触れることに  
ついて、思うことはありますか?

**狩野** 義太夫講習会で出会った幅広い世  
代の人たちと、切磋琢磨しながら芸を磨く  
いていきたいです。教える立場になると  
さらに勉強になるので、自分より下の世  
代の人たちも入ってほしい。

**角** 能舞台は小樽にしかありませんが、

まれた当時は遣っていたと思うのですが、継ぐ人がいなかつたら人形だけが残ったままになってしまった。あしり座も継ぐ人が育たなければ、いつかはそうなります。なので、淨瑠璃が子ども們頃から遊びの選択肢になるような仕組みを考えていかなといけません。一方で、小学生の頃から数ある人形の一つとして遊びのように淨瑠璃人形を遣ってきた若い子が「今のお芝居とどんなに変わらないんじやないか」と眞面目に言つてゐるのつて、すごいことだと思う。他の地域では逆に聞かないでの、先輩たちが行つてきた育成を私たちが継続して、下

The image is a high-contrast, black-and-white graphic illustration. It depicts a woman in traditional Japanese attire, likely a Geisha or dancer, with her face partially hidden behind large, expressive shadows and patterns. She is holding a fan. The background features stylized representations of other figures and architectural elements, creating a sense of depth and narrative. The overall aesthetic is dramatic and artistic.

# 劇団怪獣無法地帯 伊藤 しょうこ

最近アマチュアで芝居を続ける意味について考えます。



## SAPPORO ENGEKI no WA

野村 大さんから指名

[プロフィール]

伊藤 しょうこ

Shoko Ito

前所属劇団「芝居のべんと箱」を卒団後、2005年1月「劇団怪獣無法地帯」を立ち上げ。副代表・役者・作・演出を務める。劇団での作・演出は現在、代表の棚田満、劇団員の新井田琴江と3名での「お当番制」で行っている。



### 第17回さつらく寄席

2022年1月29日(土)  
13:00開場 13:30開演(～16:00終演予定)

会場: UHB北海道文化放送 1階「N1厨房 仲間達」  
(札幌市中央区北1条西14丁目1-5)

木戸料: 500円 定員: 50名(要予約)

ご予約・お問い合わせ先

sarakugoclub@gmail.com / 090-7583-9282(おおはら)

忘年会を兼ねた稽古会を行った蕎麦屋たいせつにて撮影

「落語を演る場を持ちたい」というアマチュア落語家・社会人落語家が集まつた「札幌落語俱楽部」。中学生から70代まで職種も芸歴もさまざまな人たちが、毎月第二火曜の夜に開催している稽古会で芸を披露し、互いに感想を語り合って芸の向上を目指すサークルです。「稽古会で漸ると、人物造形などの演出の仕方や声の出力など、いろいろな意見を他の会員からもらえてるので刺激になります。古典落語はもちろん、アレンジを施した改作や自分でつくった新作、講談を披露する人もいますよ」と話すのは、2021年から代表を務める日之出家金助さん。自分で落語を演ることで、プロの落語家の演出の仕方や所作、着こなし等へも目が行くようになり、落語の楽しみ方がさらに増えるそう。年4回開催の「さつらく寄席」や、女性会員による「ひな祭り寄席」(不定期開催)のほか、各種イベントや学校等にウケると、落語を演ることがさらになりました。興味を持たれた方はぜひ稽古会を見学(要予約)してみてください。

【俱楽部情報】札幌落語俱楽部 <http://札幌落語俱楽部.com>

好きなネタで高座に上がる。  
落語を演る楽しみ

好きなネタで高座に上がる。  
落語を演る楽しみ

### [次回公演情報]

劇団怪獣無法地帯

2022年11月頃 次回公演予定

——「本の世界に入りたい」ので芝居を始めた理由が「演じたい」ではなく「話の中に入りたい」で。物語の登場人物に自分や周囲の人をキャスティングして、頭の中で映像化する子どもでした。自分で書くものや好みで選ぶ脚本だと、どうしても役柄が偏ってしまうがちですが、怪獣の書く本は私には一生書けない素っ頓狂なもので、演技楽しみが増えました。

——劇団という形態に思うことはありますか?  
最近アマチュアで芝居を続ける意味について考えます。仕事や家庭の事情があつても皆でフォローしてほしいです。

——「本の世界に入りたい」ので芝居を始めた理由が「演じたい」ではなく「話の中に入りたい」で。物語の登場人物に自分や周囲の人をキャスティングして、頭の中で映像化する子どもでした。自分で書くものや好みで選ぶ脚本だと、どうしても役柄が偏ってしまうがちですが、怪獣の書く本は私には一生書けない素っ頓狂なもので、演技楽しみが増えました。

——何が伊藤さんを演劇に向かわせているのでしょうか?  
映画や音楽といった言語もある中で、一番話しやすかつたのが演劇でした。手間がかかる分、人から受けける影響が大きくて、自分が書いた本でも役者やお客さんの反応によって全く違う意味を持つて見えることもあります。伝える言語として一人では完結しない広がりを持つているから、演劇を選んだのだと思います。

——今後追求したいことは?  
元々虚弱体質で運動神経がないので、身体を鍛えて動けるようになります。古典落語はもちろん、自分の身体を面白がってみたいですね!

——今後追求したいことは?  
元々虚弱体質で運動神経がないので、身体を鍛えて動けるようになります。古典落語はもちろん、自分の身体を面白がってみたいですね!

——口一し合いながらつくれることを示して、若い子に演劇を説めないで続けてほしい。怪獣でも実力のある人は良い場だけれど、ゼロから演劇を始める人の場合、怪獣の場合は2年間、客演や現場のお手伝いとして付き合つてもらつて、その上で入団してもらう形を取っています。

劇団怪獣無法地帯(以下、怪獣)で作・演出(脚本家としての名前は伊藤樹)、役者として活躍する伊藤しようこさん。劇団について思うことや、30年近く続ける演劇の魅力などを伺いました。

# 教文和文化巡り

## 第9回 | 札幌落語俱楽部

伝統芸能とともに日本の文化の魅力を気軽に体感してもらう「和文化プロジェクト」。連載9回目は、札幌落語俱楽部をご紹介します。

Japan Culture Tour